

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	アンケートボックスを設置していますが、なかなかご利用者もご家族もアンケートを入れられていないのが現状です。ご家族、ご利用者の潜在的なニーズを知るためにもアンケートをして頂く必要がある。	毎月数枚のアンケートが得られるようにし、その内容を吟味し職員全員で話し合い、サービス向上に繋げていく。	アンケート投入に関してご利用者、ご家族が躊躇している可能性も否めないため、ホーム職員から積極的にアンケートのお願いをする。ご利用者に直接やご家族の面会時、その地域の方の訪問時等にアンケートをお願いする。	3ヶ月
2	18	加齢とともに心身の状態が低下傾向にあるご利用者が以前より増えていて日常的な外出の機会が減少してきている。	ご利用者の身体状況、気候の状態を考慮しながら可能な限り外出の機会を作る。外出によって気分転換やストレス軽減をしていく。	季節ごとの景色や自然に触れることができるよう外出行事を計画し実行する。身体状態の問題でホームからの移動が過負荷になる方は、ホームの庭、デッキなどに出て外の空気と日光を感じて頂くなどして対応する。	6ヶ月
3	1	ホームの理念「第二の我が家」はホーム職員全体に浸透しているが、その理念の持つ意味は何かをよく話し合ったり、再確認し、気持ちを新たに作るなどの機会が十分に設けられていない。	「我が家」とは自分が最も自分らしくいれる場所であり、安心して過ごせる場所であるということを、改めて全職員が認識し、その視点からご利用者のホームでの生活がより幸せなものになるように日々最大限の配慮を持ってサービス提供していく。	毎月一回のミーティングで理念についての話をし、日々のサービス提供で実践できているか再確認していく。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。